

# すみた

# 議会だより

【新企画】笑顔あふれる町に

ククチン接種迅速に (6月議会のあらまし)

町の考えを問う (17議員が一般質問)

町政調査会レポート 新拠点視察研修

追跡レポート 滝観洞

すみた想い人

⑫

④

⑧

⑩

⑮



No. 174

令和3年

7月16日

「どろんどろん」サイコー!!!

《有住保育園》

関連記事20p

# 笑顔あふれる町に

ほし ようこ  
星 葉子さん (世田米字里古屋)

様々な子育てで助かっています。特に学童クラブには、子どもたちを見守っていただき、安心して仕事ができることに感謝しています。もう少し、世帯への負担が軽減になればとも思います。子どもたちには、健康で自分の希望を叶え充実した未来にしてほしいです。



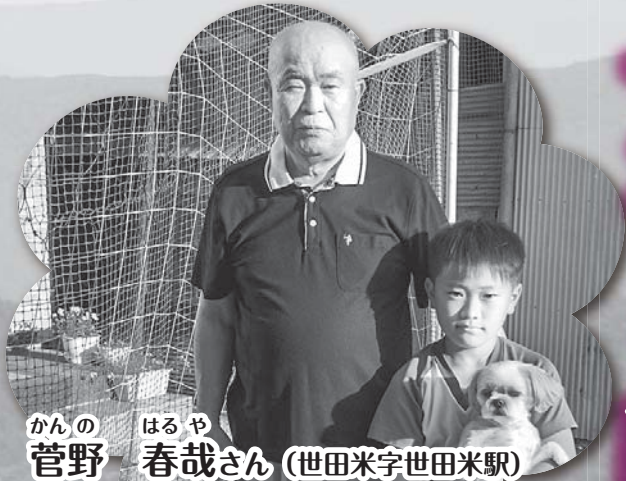
そうま めくみ  
相馬 恵美さん (上住有住字三度成木)

2人の息子が土曜保育を利用しています。いつも柔軟に対応してもらいとても助かっています。長女はスポ少バレエに参加しています。中学のバレエ部では町外の学校と合同と聞きました。娘の時代にはどうなっているのか少し心配になります。



かんの はるや  
菅野 春哉さん (世田米字世田米駅)

孫は、高校生の長男がアーチェリー、中学生の長女が大正琴、小学生の次男が大船渡でサッカーをしています。頑張る孫たちの活躍を、私も楽しみにしています。高校卒業まで医療費が無料という町の子育て支援制度は良いことだと思います。



## 子育て支援

子育て世帯に寄りそった  
切れ目のない支援

就学前

乳幼児

出産

妊産婦

- 保育環境の充実
  - ・ 土曜保育の実施
  - ・ 乳児や障がいのある子の受け入れを推進
  - ・ 3〜5歳児の保育料、副食費が無料
  - ・ 0〜2歳児の保育料を、同時入所に関わらず第2子半額、第3子以降は無料
- 子どもの健やかな成長をサポート
  - ・ 各種予防接種助成事業
  - ・ 月齢に合わせた乳幼児健診の実施
  - ・ 障がいがある子の補装具や補聴器の購入費を助成
  - ・ 子どもの医療費を無料
- 出産をお祝い
  - ・ 新生児の誕生祝として木製スプーンなどを贈呈
  - ・ 第3子の誕生に30万円、第4子の誕生に50万円を支給
- 妊産婦をサポートします
  - ・ 不妊・不育治療費の助成
  - ・ 母子保健事業
  - ・ 妊産婦医療費を助成

子育て支援施策の  
妊娠期から子育て期に  
支援を行っています。  
関する様々な調査・  
心して子育てが  
境作りを  
います。

# 子育て わたしの実践

よしだ つまよ  
**吉田 ツマヨさん** (世田米字和山)

我が家は7人家族。そのうち、孫は3人です。住田は、子育て支援が充実して、毎日が楽しいですし、にぎやかで成長が楽しみです。新型コロナには気を付けて生活しています。



こんの こうた  
**紺野 幸太さん** (下有住字十文字)

我が家は、私たち夫婦、子どもは8歳・3歳・1歳の男の子3人、父母の3世代7人家族です。保育費や子ども医療費の無償化は助かります。小学生の息子は学校が楽しいと言っています。将来に向けての興味は何か。見守って行きたいと思います。



かわむら きわこ  
**川村 喜和子さん** (上有住字中沢)

今年1年生になった孫は、放課後子ども教室を利用しています。友達と楽しく遊んだり、宿題を見てもらったりしていて、感謝しています。地域ではサツマイモを植える行事があり、一緒に植えました。秋の収穫がとても楽しみです。

## 子育て世帯の経済的負担軽減

# 我が町の

## 就学

### ■ 充実した学校生活を応援

・ 国際教育講師を配置し、国際感覚を育成

・ 地域創造学、森林環境学習など、地域の特性を活かした学習を推進

・ 教育ICT環境を整備（1人1台パソコンなど）

・ 中学生の英検受験費用を助成

・ 経済的な理由などにより就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、義務教育にかかる経費の一部を援助

・ 有住地区では放課後子ども教室を開催し、放課後の居場所を提供

・ 世田米学童クラブの運営を支援

・ 高校生を支援

・ 高校生までの医療費を無料

・ 奨学金貸与制度

・ 住田高校生の通学費助成、学校給食の無償提供

・ 住田高校生の英検受験費用を助成

・ 住田高校生の自学自習支援

・ 住田での生活を応援

・ 奨学金の返還免除制度

・ 看護師確保対策奨学金返還補助金

町では、母子保健と一体的な提供で、妊わたる切れ目ない支議会も、子育てに関する研究を行い、安できる環境提言してま

# ウイルス感染症 可決

## 第3次対策費を

一般会計  
補正予算  
1億4707万円追加

# ワクチン接種迅速に 社会体育館で集団接種

### 6月議会定例会

6月議会定例会は、6月8日から11日までの4日間の会期で開かれました。一般質問には7人の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染拡大が続く中での林業振興やワクチン接種、住宅政策、脱炭素社会、農業振興などについて町の考えをたざしました。

町提出案件は、13議案。令和2年度繰越明許費繰越計算書の報告、専決処分承認4件、令和3年度一般会計補正予算、条例改正など議案8件、請願1件、総務教民常任委員会と議会運営委員会からの発案各1件を審議し、すべて原案の通り可決しました。

### 6 接種済証交付



299万円

集団接種に係る医師や看護師など医療従事者の人件費



医師・看護師などの報酬

1692万円

住田地域診療センターで実施するワクチン接種委託料



ワクチン接種委託料

6月補正予算に盛り込まれた

おもなワクチン接種対策

180万円

集団接種会場の社会体育館駐車場で交通整理や会場への案内業務を委託



駐車場誘導業務委託料

300万円

接種会場で使用するパネルやゼッケンなどの備品を購入



接種会場用備品購入費

# 新型コロナナ



受付

△ 集団接種会場の社会体育館では、町内の看護師など多くの方々の協力でワクチン接種がスムーズに行われている。

## 経済支援

使って応援住田チケット  
8890万円計上

新型コロナウイルスの影響を受けている町内事業者を支援しようと昨年度に実施した町独自の経済対策プレミアム率100%チケット「使って応援住田チケット」『すみチケット+（プラス）』の追加販売に8890万円を計上しました。

**問** 今回のチケットの内容は。

**答** 1セット50000円で商品券100000円分（500円券20枚入）のプレミアム率100%チケットを販売する。

**問** 購入上限を定めるのか。

**答** 1世帯につき8セット（80000円分を40000円）までの販売となる。

**問** 利用期間は。

**答** 8月1日から令和4年1月31日までとする。

**問** チケット購入方法は。

**答** 行政連絡員（班長）を通じて配布するチラシに添付の往復ハガキに必要事項を記入し、7月13日までに投函していただく。町商工会から、引換日時などが記入されたハガキが返信される。

## 監査委員報告

三木・ランバーに係る  
住民監査請求

町監査委員より町議会議長に、住民監査請求が提出された旨の通知があったことから、その内容をお知らせします。

【請求のあった日】

令和3年5月12日

【請求人】

1人

【請求の要旨】

住田町長に対し、三陸木材高次加工協同組合（三木）と協同組合さんりくランバー（ランバー）への農林業振興資金の融資を実行した前任住田町長及び本件融資を承認した住田町議会議員に対し、損害賠償請求権の行使その他適切かつ必要な措置を講じingことを求める。

【請求の理由】

住田町は、平成18年4月、平成19年10月及び平成20年1月の3回にわたり、三木に対し総額4億円、ランバーに対し総

額3億9000万円の融資が実行された。前町長と本件各融資が行われた当時の町議会は、三木とランバーの経営が、平成18年4月の時点ですでに破綻しており、融資をしても回収不能であること認識していたが、容易に認識し得たといえるから、前町長は町議会に対し、三木とランバーへの融資を提案するべきはなかったし、町議会としても、本件各融資を承認するべきではなかった。しかし、前町長は、町議会に対し、本件各融資を提案し、町議会は本件各融資を承認した。したがって、前町長及び本件各融資を承認した住田町議会議員は、本件各融資に基づく貸付金が回収不能となったことよって住田町が被った損害についての不法行為に基づく損害賠償責任を免れない。

## 請願のゆくえ

件名	さらなる少人数学級の実現に伴う教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引上げをはかるため2022年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願
請願者の住所・氏名	大船渡市盛町字東町14-2 岩手県教職員組合南リアス支部 支部長 小國 博文
紹介議員	菅野 浩正、佐々木 信一
付託常任委員会	総務教民常任委員会
審査の結果	採択
本会議での採決	全員賛成 国へ意見書提出

# 繰越明許費8事業

## 令和2年度繰越明許費繰越計算書

※令和2年度の事業で何らかの事情で、その年度内に支出が終わらないと見込まれるものを、議会の議決を経て翌年度に繰越して支出するものです。

事業名	金額	翌年度繰越額
公共施設等総合管理計画個別計画策定事業	696万円	696万円
地域情報通信基盤施設放送機器更新事業	2321万円	2321万円
戸籍システム改修事業	638万円	638万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	2719万円	2719万円
飲料水施設整備事業	1737万円	1737万円
畜産競争力強化整備事業	4億4607万円	4億4607万円
学校保健特別対策事業（小学校）	160万円	160万円
学校保健特別対策事業（中学校）	160万円	160万円

# 専決処分 4件承認

### ※専決処分とは

議会が議決すべき事件について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき、町長が議会に代わって意思決定を行うこと。

### 令和2年度一般会計補正予算(第12号)

歳入歳出それぞれ8286万円を追加し、総額62億9579万円とするものです。

歳入…地方交付税・国庫支出金・指定寄付金の確定による増額  
歳出…地域情報通信基盤整備事業基金・まちづくり応援基金への積立金

### 令和2年度介護保険特別会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ280万円を減額し、総額10億4260万円とするものです。

介護給付費繰入金、介護給付費準備基金積立金を減額したものです。

### 一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の定義を条例に規定したものです。

### 住田町税条例等の一部改正

地方税法の一部改正に伴う改正による条文整理をしたものです。



△ 改修工事が行われる町防災行政無線（固定系）施設。

請負契約

## 通信設備を改修

### 防災無線親局を更新

● 請負者  
（株）日立国際電気  
東日本支社

● 契約金額  
5390万円

● 工事場所  
町役場庁舎内

● 工事名  
防災行政無線同報系親局設備更新工事

防災行政無線の親局は設置から10年が経過し、老朽化していることから通信機器など設備を更新するものです。

# 消防力 アップへ

## 小型動力ポンプ積載車の更新

－ 1分団1部（世田米・下町）・2分団3部（世田米・川口）－



△ 新たに導入する同型の小型動力ポンプ積載車。

小型動力ポンプ積載車 2台  
 取得予定価格 1727万円

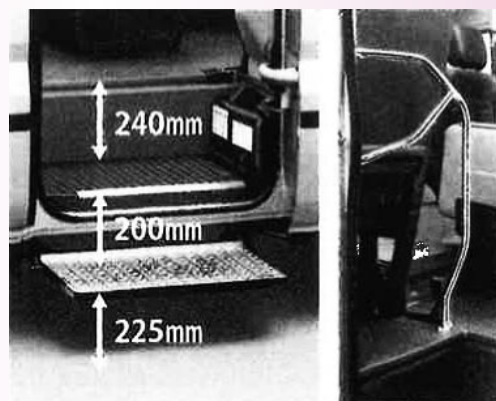
車両の概要

- ・ダブルキャブ（定員6名）  
 ロングデッキタイプ  
 後輪シングルタイヤ  
 寒冷地仕様  
 4輪駆動車  
 5速マニュアルもしくは  
 4速オートマチック
- ・ディーゼルエンジン  
 出力75kW(105PS)以上

住田町消防団第1分団第1部と第2分団第3部に配置の小型動力ポンプ積載車の老朽化に伴い、車両更新のため購入するものです。

マイクロバス  
(25人乗り 1台) 取得予定価格 **955万円**

- 車両の概要
- ・ディーゼル車 5速マニュアル
  - ・ロングボディ ハイルーフコミュニティバス仕様
  - ・寒冷地仕様



△ 車両更新する同型の25人乗りマイクロバス。

住民の足リニューアル

コミュニティバスを更新

**問** 大股方面の運行も増えたことからの購入となるのか。

**答** 現在所有のコミュニティバスは3台のうち年数が経過したバスを更新するもので増車にはならない。

**問** 利用者は高齢者が多いと思われること

**答** とから、乗降口の安全面に配慮すべき。

**答** 乗降口の幅と高さ、ステップ高さや奥行き最適化として、スイング扉の足元に低床の補助ステップや手すりを設けるなど、どなたでも安心して乗り降りできる出入り口となっている。

# 一般質問

# 町の考えを問う

## 神田町政・ワクチン接種・ 農林業振興などで論戦

### 7人の議員が質問

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
9	おぎわら 荻原 勝	①住宅政策 ②東日本大震災の後方支援の経験を今後 に活かすこと
10	あべ 阿部 祐一	①林業振興 ②改正災害対策基本法
11	はやしざき 林崎 幸正	①滝観洞の再開発 ②林業振興
12	ささきしんいち 佐々木信一	①脱炭素社会の取り組み ②町道の整備
13	むらかみ 村上 薫	①木工団地2事業体に係る債権回収 ②神田町政について ③行政業務のデジタル変革(DX)と ICT利活用
14	ささきはるかず 佐々木春一	①簡易水道給水区域外の水道施設整備 ②新型コロナウイルス感染症対策の抜本 的強化 ③大雨時に発令する避難情報の見直し
15	みずの 水野 まさかつ 正勝	①畜産振興対策 ②農業振興対策

なお、全文記録(議事録)は、7月下旬から役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、施策執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は一周ずつ質問する一問一答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。



# 問 「良い住宅の町」実現を

## 答 ステージに応じ住宅支援

**問** 町営住宅9戸を新築した。募集状況、入居状況はどうなっているか。

**答** 町長

清水沢団地の世帯用住宅2戸は、子育て世代の町内への定住促進が目的である。事前に内覧会を開催し、募集を行い1戸の入居が決定している。もう1戸についても随時受付をする。

高齢者向け単身者用住宅計7戸は、一般町営住宅からの住み替えが目的である。町営住宅に入居している単身高齢者の方には住宅の見学や家賃などの情報を提供している。

**答** 町長

このプロジェクトは、魅力ある住まいの供給や不動産情報の発信による住宅建設と既存家屋の活用などを促進する。

子育て世代から高齢者まで、人生の各ステージや世帯構成に応じて住環境が確保できるように進めていく。

**問** 町総合計画の中のグッド・レジデンス・タウン(良い住宅の町)プロジェクトをどのように展開し進めていく考えか。



おぎわら 荻原 まさる 勝 議員

高齢者の要望と、高齢者向け住宅政策のマッチングが大事だ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 後方支援の経験どう活かす

## 答 「仕事・学びの場」で提供

**問** 東日本大震災から10年の後方支援の経験から新しい木造仮設住宅や木材キットの開発をしては。

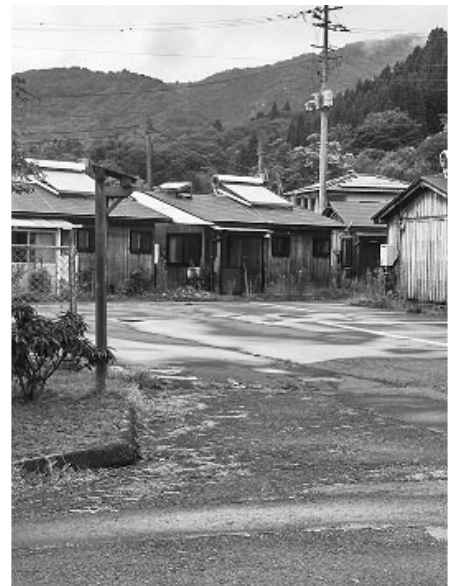
**答** 町長

平成28年度に木造仮設住宅の提供及びキット化等を考案し、内閣府等の関係省庁へ提案するとともに、第2回木の町サミットでも提案している。しかし、資材管理の手間や費用、備蓄場所の確保、備蓄主体など解決すべき課題があり、実現に至らなかった。木造仮設住宅のキット化については数々の課題を解決する必要があると捉えている。

**問** 被災者支援のノウハウ、木造仮設の知名度、田舎の良さを活かした取り組みを。

**答** 町長

本町では、東日本震災の被災者の受け入れ及び後方支援のノウハウ、自然豊かな環境を生かしたサービスなどは、本年度において取り組む「仕事・学びの場創出事業」の中で生かし提供していきたい。来町者の増加や交流、物流、地域おこしにつながる取り組みを進めていきたい。



△ 「仕事・学びの場」の建設が予定されている本町仮設住宅団地跡地。

# 問 町内製材所への供給体制を

## 答 森組・素生協・製材協で連携



あべ ゆういち  
阿部 祐一 議員

町の考えを問う

山元への波及効果を期待したい。

議員のつぶやき

**問** 外材の輸入が急激に減少し、町内の製材産業でも、丸太が確保しにくいなど国産材需要増の影響が出ている。森林組合や素材生産業者が連携し町内で生産される素材は町内に供給する体制が必要ではないか。

**答** 町長

コロナ禍の影響により木材の需要が逼迫し価格が高騰する「ウッドショック」の動きが見られる。本町においても住宅部材等の木材製品の需要が高まっており製材業において原木が品薄状態となり材料の確保に支障をきたしているとの情報もある。

町内での供給体制づくりは森林組合や素材生産業者のこれまでの搬出先との関係もあり難しい面があると考えますが、それが連携していくことは必要と捉えている。

**問** 国産材への切り替えが進めば、町有林の価値が増す。本年度の伐採計画をどう進めるのか。

**答** 町長

航空レーザー測量の成果を活用し、立木で販売する新たな発注方法の検討を進めている。その方法が確立すれば本年度は7・5haの皆伐を実施する予定である。

# 問 避難指示一本化への対応は

## 答 10月に避難訓練実施

**問** 避難勧告を廃止し避難指示に一本化された改正災害対策基本法が施行された。速やかに周知すべきと思うがどうか。

**答** 町長

5月20日の法施行後に避難勧告と避難指示の一本化等を記載したチラシを全戸配布しているが、

広報すみた6月号でも周知を行い、台風や大雨の多発期に備えたい。

**問** コロナ禍で防災訓練を実施できない状況にあるがどう進めるか。

**答** 町長

避難訓練の実施は感染症の状況を踏まえての判断

断になるが10月に計画している。避難訓練において一本化された避難情報による訓練は感染症対策を講じて実施できるよう取り組みたい。

**問** 避難所の停電時に、非常灯や発電機の設置、トイレの機能強化をどう考えているのか。

**答** 町長

町が設置する避難所となる地区公民館や体育館には、発電機などを設置している。今後、照明、簡易トイレの整備を進める。自治公民館の機能強化は、自治公民館と自主防災組織の役割分担をしながら進めていきたい。



△ 製材業において原木の品薄状態が見込まれる。

# 問 ウッドショックの影響は

## 答 木材産業と市場の動向注視

**問** 「ウッドショック」の波が日本にも押し寄せていると考えられるが、本町の林業に及ぼす影響についてどのように捉えているか。

**答** 町長 製材業において原木が品薄状態となり、材料の確保に支障をきたしているとの情報もあるが、一方で国産材回帰へとつながり、長らく低迷が続く木材業界にとって立て直

しのいい機会になると見る動きもある。引き続き市場の動向等の情報収集をしながら本町木材産業への影響について注視していく。

**問** 木材を「セルロースナノファイバー」として活用する動きがあるが、本町においても検討すべきと考えるかどうか。

**答** 町長 現在、農林水産省や環

境省など、実用化に向けた製造技術の確立や用途の開発などの研究が行われているものと承知している。現在のところ取り組む計画はないが、今後情報収集に努めたい。

※セルロースナノファイバー  
木材などの植物繊維を科学的、機械的に処理し、ナノサイズ（微粒子）まで細かく解きほぐした植物由来の素材で、鋼鉄の5分の1の重量で5倍の強度を持つとして活用が期待される。



はやしざき 林崎 さちまさ 幸正 議員

費用対効果を言っただけでは事業は進まないと思うが。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 白蓮洞の再開を

## 答 費用対効果を念頭に

**問** 老朽化した観光センターを、温泉も備えた施設に建て替えるべきと考えるかどうか。

**答** 町長 まずは滝流しそばと洞窟受付プレハブの一体的建て替えを行う予定としているが、詳細は今年度実施する設計の中で検討し取り組む計画としている。  
観光センターの整備は、中長期的な整備計画が具体化する中で検討する。

**問** 白蓮洞は、閉鎖したままとなっているが、改修などの手立てを行って再開すべきと考えるかどうか。

**答** 町長 白蓮洞の改修には、多額の経費を要するものと思定される。将来性や継続性、安全性などを考慮するとともに、費用対効果を念頭におきながら慎重に検討すべき内容であると考えている。



△ 閉ざして10年。案内板も樹木で覆われている白蓮洞入洞口。

# 問 地球温暖化対策は

## 答 脱炭素社会を積極的に



さ さ き しんいち 議員  
佐々木信一

町の考えを問う

脱炭素社会は  
住民一人ひとりの  
心がけから。

議員のつぶやき

**問** 2050年までに温室効果ガスの排出ゼロとする目標を明記した改正地球温暖化対策推進法が可決された。本町における脱炭素社会に向けた取り組みは。

**答** 町長

ハード面では、公共施設への太陽光発電の整備、木質燃料燃焼機器の導入促進に取り組むとともに地域の理解をいただき太陽光発電、風力発電施設の設置が進められてきた。また、ソフト面では、役場において省エネルギー、省資源廃棄物の減量化などを推進してきた。これまでの成果を踏

まえて、今後も町全体の取り組みとなるような施策を推進していきたい。

**問** 石炭や石油など化石燃料の使用削減において、風力、水力、木質バイオマス、太陽光など再生可能エネルギーが切り札になる、本町の今後の取り組みは。

**答** 町長

本町の特性を生かした木質バイオマスエネルギーを主体に太陽光、風力、小水力のそれぞれの用途や効果を検証し、自然環境との調和を考慮しつつ普及していく。その推進により、脱炭素社会

# 問 未改良町道の整備促進を

## 答 小府金野々前線から順次

**問** 町道、清水沢只越線は有住、遠野方面への迂回路として必要な道路と考えることから、改良を進めるべきと思うが。

**答** 町長

現在のところ、新たな整備は考えていないが、今後も、通行確保が図られるよう適正な維持管理に努めていく。

**問** 町道認定から年数が経過している小府金野々前線、合地沢野畑線、大平上組線の舗装改良予定は。

**答** 町長

各路線については年次計画的に改良を進めたい。実施年度は未定だが、小府金野々前線から順次改良を進めていく。

**問** 水素エネルギーを生活した新たな町づくりを推進していく考えは。

**答** 町長

水素エネルギーの一般的な実用化はこれからと捉えている。今後、電気自動車のように普及が進む可能性もあると思われる。国や県、水素エネルギーの需要と供給の状況、技術の動向を注視しながら対応していきたい。



△ 整備改良が待たれる町道小府金野々前線

# 問 2期目に臨む 重点施策は

## 答 「医・食・住」施策 切れ目なく

**問** 町長選まで約1ヶ月。2期目に臨む重点施策は何か。

**答** 町長

4年間「医・食・住」の充実、「人づくり」の基本となる教育の推進を目標として、「支え合う共生のまちづくり」に取り組み一定の成果をあげてきたと認識している。しかし、「医・食・住」各分野の課題は山積しており、2期目においても、切れ目のない政策を進めることが肝要と捉えている。まずは、コロナ禍の生活

を通常に近い生活に変えていくことに注力したい。

**問**

「森林・林業日本一のまちづくり」の策定から16年経過。新たな森林経営管理制度や地球温暖化、SDGSなど、町内外を取り巻く環境が激変している。大きな構想に基づき新計画を策定すべきではないか。

**答** 町長

文言も含め、時代の変化に見合った見直しの時期にきている。

**問** 高齢化社会における健康増進や生涯学習の方法として、Aースピーカーなどの活用が注目されている。ICT活用と推進をどのように図る考えか。

**答** 教育長

各地区公民館にWi-Fi環境が整った。Aースピーカーは、複雑な操作が不要で、デジタル社会構築に向けその効果が高いと捉えている。



むらかみ 村上 かのる 議員

町民が自信をもって語れる「森林・林業日本一のまちづくり」が必要だ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

※Aースピーカー  
人工知能により声を認識し、天気予報や情報などが得られる。見守り機能の他、認知症予防につながる可能性も指摘されている。

# 問 木工2事業体 債権回収 一連処理後に住民説明会を

## 答 説明会は必要と考える

**問** 破産管財人に係る法的手続きの経過と今後の見通しは。

**答** 町長

三木とランバーの破産手続は、これまで三木が3回、ランバーが2回の債権者集会が行われたが、未だ終結に至っていない。三木の一般破産債権に対する配当率は約4%ということであり、次回8月に開催予定の債権者集会で配当額が確定し破産手続きが終結する見込み。ランバーは、三木の債権を有しているため、三木の破産手続き終了後、終結に向かうものと捉えている。

**問** ランバーの立木未収金の不納欠損処理は、来年9月の決算審査に諮るとの認識でよろしいか。

**答** 副町長

次の会計年度での不納欠損処理等については、考えなければならぬと思っっている。そのやり方については、初めてのことであり、今後、各関係機関と調整しながら適正に処理していきたい。

**問** 木工2事業体破産に係る一連の債権回収処理後に住民説明会を開催すべき。

**答** 町長

説明会は必要と考える。



△ 16年前に作成された「森林・林業日本一のまちづくり」の林業振興計画書。

# 問 ワクチン接種加速化を

## 答 接種体制確保に努力



さ さ き はるかす  
佐々木春一 議員

町の考えを問う

五輪は中止し、  
コロナ対策に全力を  
尽くすべきでは…。

議員のつぶやき

**問** 本町でも新型コロナウイルスワクチンの集団接種が始まった。国では65歳以上の高齢者向けのワクチン接種を7月末までに完了するとしているが、接種の状況と見通しはどうか。

**答** 町長 6月5日からは毎週土曜日、社会体育館での集団接種も実施している。7月末までに1回目の接種は終わる見込みだが、3週間の間隔を開けて2回目を接種しなければならず、現状では7月末までの2回接種完了は難しい状況である。

**問** ワクチン接種の加速化には医療従事者の増強

が鍵となるが。

**答** 町長 医療資源が少ない本町では医療従事者の確保が課題となっており、町内の看護師資格を有する方や県立大船渡病院、気仙医師会、岩手県に協力を得ながら接種体制の確保に努めている。

**問** 感染者を見つけ、流行の拡大を抑えるためには定期的なPCR検査を活用すべきだが。

**答** 町長 高齢者施設、保育施設、学校などで陽性者が確認された場合のクラスターを未然に防ぐことをねらいにPCR検査簡易キットを購入し備える。

# 問 消防団員の待遇改善は

## 答 年額報酬・出動報酬を検討

**問** 火災や風水害などの災害に備えた消防団の役割が大きい。消防団員の充足率が低下し、地域防災力の低下が懸念されることから消防団員の報酬や手当の待遇改善が必要では。

**答** 町長 消防団員の確保が難しく、団員の減少を食い止めることが課題である。

地域防災力の維持が重要

■消防団員の年額報酬と出動手当（報酬）

近隣市町名	年額報酬	出動手当（報酬）
住田町	26500円	2000円
陸前高田市	23500円	2200円
大船渡市	26000円	1900円
消防庁通知の標準額	36500円	8000円

であり、年額報酬の改定・出動報酬の創設を含めて消防団員の待遇改善のため何が必要か検討していく。

補助要件見直しを

戸別でも可能に

**問** 安全で安定した飲料水の供給が快適な暮らしに大きく影響する。簡易水道給水区域外への飲料水供給施設整備に係る補助事業要件の見直しを。

**答** 町長 給水施設整備に係る工事は補助対象となる。集落組合での整備には補助率を7割以内、共同で行うことができない個人の方には5割以内で事業実施できるように見直した。



△ ワクチン接種を受け、町民からは安堵の声が聞かれた接種会場。

# 問 獣医療体制の今後は

## 答 維持継続は困難な状況

**問** 本町の酪農・肉用牛生産者における生産額と産業の波及効果をどう捉えているか。

**答** 町長

乳用牛と肉用牛の総産出額は1億3千万円で、農業生産合計額の約3%を占めており、本町の大事な基幹産業の一つと捉えている。

**問** 本町の獣医療体制の現状は。

**答** 町長

家畜診療業務は、岩手県農業共済組合で行っているが、収支的に維持継続が困難な状況にある。また、労働環境の悪化などによる家畜診療所獣医師の退職が続き、獣医師偏在が急激に進行していることに加え気仙地域に開業獣医師がいないことから畜産農家の要望に十分応えることができない状況にある。

**問** 家畜診療の安定化を図るため、今後どのように取り組んでいくか。

**答** 町長

畜産農家が安心して生産活動を行うための環境づくりが行政の役割だと考える。どのようにすれば獣医療提供体制を維持できるか、県も含めて、行政、農業共済組合、農協と畜産農家の意見を参考に、早急に協議していく必要があると考える。



まさかつ 正勝 議員  
みずの 水野

町の考えを問う

地域の農業を守ることは、日本の国家安全保障や国防にもつながることだと考えます。

議員のつぶやき

# 問 「人・農地プラン」の推進を

## 答 地道な話し合いが必要

※スマート農業  
ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業。



△ 町内での実装が期待される水位センサーと自動給水ゲート。

**問** 「人・農地プラン」の課題と今後の展望は。

**答** 町長

農業関係者や地域住民の理解度や認知度が低く、農地集積や集約化を推進するには、地道な話し合いがなされなければ実践に移れない。地域全体で取り組んでいく必要がある。

**問** スマート農業の課題と今後の展望は。

**答** 町長

本町のような小規模農業経営では、費用対効果を考えると普及は難しいと捉えている。ただし、水稲育苗や野菜栽培など

のハウス内環境の監視や牛舎内の分娩監視カメラなどのスマート農業といわれる事例もあり本町農業体系にあつたスマート農業導入の可能性はあると考えている。

**問** あぜ抜き工事等による、ほ場の区画拡大を推進していくべきと考えるかどうか。

**答** 町長

ほ場の区画拡大には、農地所有者の意向が左右する。農業関係者や地域住民全体でしっかりと議論し、事業効果も検証しながら推進していくべきと考えている。

# 新拠点を視察

# 議員 研修



町政調査会では、5月15日、議員研修会の一環として令和2年度に建設された上有住地区公民館と町営住宅（清水沢・火石団地）を現地視察しました。

上有住地区の活動拠点並びに高齢者と子育て世帯の共存となる町営住宅への期待が高まりました。



△ ホールや図書室は、杉やカラマツ、アカマツの集成材がふんだんに使用され、天井も高く居心地の良い空間を生み出しています。

△ 大きなひさしに覆われた入り口の三角土間は、水飲み場と縁側の待合スペースがあり、イベントにも利用できます。

## 上有住地区公民館

## 町政調査会レポート

# 子育て・高齢者世帯向け町営住宅



△ 子育て世帯棟(2棟)は、2階建てで1階の一部を半屋根外空間とし採光と使い勝手を向上させ、共有スペースとのつながりを生かしています。



△ 単身高齢者住宅(4棟)は、平屋建てで室内に段差はなくリビングと寝室が分けられ、台所やトイレの移動など生活しやすく配慮している。



△ 単身高齢者向け棟(3棟)は、平屋建てでリビングと寝室双方からトイレに行くようにまとめることができます。

## 清水沢団地

## 火石団地



業務継続計画

BCPを策定

Business Continuity Plan

平成23年3月の東日本大震災の発生から10年が経過。近年においては、異常気象における大規模災害、新型コロナウイルス感染症等の発生によりその脅威が拡大してきています。このような大規模災害等発生時の非常事態においても、二代表制としての議決機関、住民代表機関としての議会機能の維持を図り、迅速に対応する必要があります。責務を果たすために、必要な組織体制や議会・議員等の役割を定めた住田町議会業務継続計画（BCP）を策定しました。

■対象とする災害等

災害等種別	内 容
地震	・震度5強以上の地震が発生し、相当規模の災害が発生または発生の恐れがあるとき
風水害	・町内に気象警報、洪水警報等が発表され、相当規模の災害が発生または発生の恐れがあるとき ・主要河川については、氾濫注意水位を超え、さらに上昇の恐れがあるとき
感染症	・厚生労働省が定める指定感染症、新感染症、新型インフルエンザ等感染症で、措置を講じなければ町民の生命及び健康に重篤な影響を与える恐れのあるものが発生したとき
その他	・上記自然災害のほか、大規模火災や事故、原子力災害、武力攻撃、大規模なテロ等で、大きな被害が発生したとき、または発生する恐れがあるとき、その他議長が必要と認めるとき

さっそく

災害情報伝達訓練を実施  
災害情報伝達・安否情報訓練

スマートフォンを活用

6月14日午前8時に大地震が発生した想定で、議員の安否情報訓練を実施しました。

各議員は、所有の携帯電話（スマートフォン等）を使い、自分の安否情報を全議員が確認できるLINE（ライン）を活用し送信しました。全員安否の情報を確認することができました。議員自ら確認したものを

や、近隣住民からの情報を基に議員間で情報共有を行ったものです。



△ スマートフォンを使い、各議員からの安否通報を確認する瀧本議長

町議会災害対策会議設置訓練

議長が副議長、議会運営委員長、総務教民常任委員長、産業経済常任委員長を招集し災害対策会議を設置。

災害対策会議に集合した各委員長は、非常時に備えた対応について意見交換しました。



# 追跡レポート⑦2 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

## 滝観洞内の 安全対策を

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

### 質問

#### 滑りやすい通路の 安全対策を

洞内が滑りやすく、特に子どもが転倒し転落しないか心配との声がある。転落防止のための手すりは設置されているが、さらなる安全対策の強化が必要ではないか。

### 答弁

#### 子どもの 転倒・転落防止

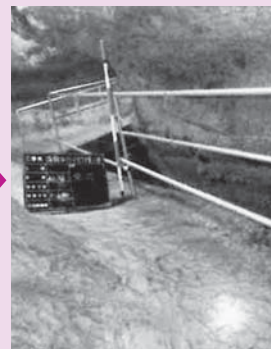
通路の柵は地面と下段のパイプの間隔が50cm位あり、子どもの転倒・転落が心配な箇所が見られる。さらなる安全対策を検討する。

### その後

#### 手すりのパイプを 3本に補強



改修前



改修後



### 現場の声

住田観光開発株式会社  
取締役 千葉 孝文 さん

本年3月、既存の柵の下段にパイプを追加し、子どもの転落防止対策も強化し洞窟内の安全を確保しました。多数の皆様のご入洞をお待ちしております。

# すみた想い人⑥

町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対する意見、活動を通して「まちづくり」に對しての想いを紹介していきます。



△ 支援員さんを囲んで全員集合。

今回は、世田米学童クラブで放課後児童支援員として活躍している小野香江さんです。町内外の若者が集える居場所や楽しみづくり、活気あるまちづくりにも取り組んでいきます。

## 子どもの見守りを地域の方々と



△ 放課後児童支援員 小野香江さん

- Q** 主に活動していることは。
- A** 世田米学童クラブに携わって7年目になります。保護者が安心して仕事をしていただけるように、子ども達が放課後や長期休みで安全に楽しく過ごすための見守り活動をしています。
- Q** 活動の中で大切にしていることは。
- A** 子ども達の成長を保護者や地域の方々と一緒に見守っているようきめ細やかな連携を心がけています。

## 議会を傍聴しよう！

町議会は誰でも傍聴できます。次の9月議会の予定は下表のとおり。

生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和3年6月議会の傍聴者は12人でした。



### 9月議会は

日	月	火	水	木	金	土
			9/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
		一般質問			本会議	
12	13	14	15	16	17	18
		決算審査特別委員会			本会議	
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

## 住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。

放映時間は、午後6時からです。

- Q** 活動の中で心に残ることは。
- A** 子供たちが屋外でにぎやかに遊ぶ機会もあるのですが、近所や地域の皆さんにはいつも温かい理解をいただき助けられています。
- Q** 世田米学童クラブの課題は。
- A** 登録者の増加により、2年前から低学年と高学年の児童が二つの施設に分かれて過ごすことにはないと思います。子ども達が安心してのびのびと遊び学べる新たな拠点が必要だと思っております。検討してまいります。
- Q** 町や議会に望むことは。
- A** 今後も学童クラブの利用が落ち込むことはないと思います。子ども達が安心してのびのびと遊び学べる新たな拠点が必要だと思っております。検討してまいります。



△ 子ども達と一緒に野球盤で遊ぶ小野さん。



パート  
6

# わたしの未来

## 住田町の子どもたちが 将来の夢を語る

コーナーです。  
自薦・他薦も大歓迎。申し  
込みをお待ちしています。

### 私の夢は、らく農家

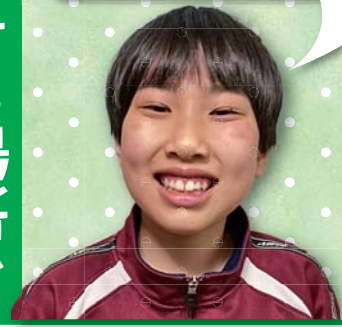
私の両親は、牛の世話をし、牛乳をしぼる仕事をしています。私も、牛にエサをあげたり手伝いをしています。一生けん命働く両親を見て、私も**らく農家になりたい**と思っています。毎日の給食に私の家の牛乳を出して、みんなにおいしいと言って飲んでもらえるよう努力を続けていきたいです。



世田米小学校6年  
いずみた さき  
**泉田 咲**  
(世田米字清水沢)

### みんなが働ける場所を

わたしの夢は、**会社の社長になる**事です。住田町には働くところがないので、みんな都会に行ってしまう。社長になってみんなが働ける所を作りたいです。仕事が増えると人が増えて、町が明るく、元気になると思います。そして、みんなが笑顔になれる町にしたいです。



有住小学校6年  
えんどう ひとみ  
**遠藤 瞳海**  
(下有住字中上)

## 編集後記

広報編集常任委員会  
委員 佐々木春一議員

ある出来事を伝えるためには、いつ、どこで、だれが、なにを、どのように一の「5W1H」と呼ばれる要素が欠かせません。  
町や議会の動きをつぶさに伝えたいという思いで議会だより編集にあたっています。また、議会で決まったことを早く知らせたいと前号からは発行日を2週間短縮しました。見てみたい、分かりやすい紙面づくりに努めます。  
ご感想をお寄せ下さい。

## 広報編集常任委員会

発行責任者	議長	瀧本正徳
	委員長	菅野浩正
	副委員長	佐々木春一
	委員	佐々木信一
		佐々木初雄
		荻原勝勝
		水野正勝



## 表紙の写真



有住保育園



プール開きが待ち遠しい6月。有住保育園では、子どもたちが泥んこ遊びに夢中！色水を作る子、水風船で遊ぶ子、水鉄砲で遊ぶ子と大盛り上がり。中には泥んこの上にごろーんと寝っ転がり、水をかけられて楽しそうに笑う子どもたちの姿もありました。

間もなく夏本番。たくさん水遊びができる夏になればいいですね。